

秘

手

護衛兵上陸方針協議

昨十日夜外務大臣ヨリ歩兵大隊(十人)工兵一小隊(五十人)陸軍少佐一戸兵衛
 氏之ヲ引率シテ和哥浦丸ニ乗組本月九日午前一時忠海出帆シタリトノ電報
 有之又本日午後同大臣ヨリ本月十日夜越後丸同土前早朝熊本丸木津川
 丸及ヒ近江丸同日午前筑後川丸出帆致レ貴官ハ近江丸ニ御乗組相成候
 旨電報有之候依テ鄙考ニ右、多多本官在京中承知シタル混成旅團
 ヲ奉ケテ出発相成リタルニアラサルカト被推測候然ル處當國全羅道各地ニ
 於ケル民乱ノ状況ハ昨今稍々鎮静ニ傾キ隨テ来援ノ清兵モ其先發兵凡ソ
 一千人程牙山ニ上陸シタルモ未タ戦地ニ向テ進發シタル報告無之其他ノ千百人程ハ
 牙山ニ滞留シテ上陸ヲ差扣ハ居ルヤニ及傳聞候右、蓋レ朝鮮政府ハ且清
 兵ノ出援ヲ請求シタルモ其後我國派兵入韓ノ奉ニ過ヒ痛ク之ニ恐懼シ重テ
 清兵ノ上陸セズテ早ク撤回セシヲ請求シタルニ因ルニアラサルカト被推察候
 加之當京城ノ形勢ハ目下頗ル平穩ニシテ警戒ヲ要スル程ノ事幾シト無之

然レハ此際我國ニ於テ多数ノ兵員ヲ上陸シテ京城ニ突進セシムルハ其舉動甚クハ穩當ニシテ外交上極メテ不得策ト被考候其理由ハ左ノ通りニ有之候

一當地ニ我兵員ヲ派セスルハ本ト條約ニ照準シテ我公使館ノ警備ニ充ツルニ過キサレハ其名義上ヨリ考察ヲ下タスモ多数ノ兵員ヲ要セス明治十五年中始メテ護衛兵ヲ置キタル際ハ初メ步兵一大隊ヲ置ケタルモ其後漸ク減ヒテ一中隊トセラレタル義ニ有之候故ニ公館警備ノ爲メハ多クトモ一大隊以上ノ兵ヲ置クハ前例ニ照シテ不穩當ニ相涉リ之レカ爲メニ清韓兩國ヲシテ我ニ野心アルヤノ嫌疑ヲ興サシムルノミナラス又其他各國ト虽モ必ス之ヲ視テ穩當ノ處爲ト做サルハト存候然ル共ハ這面多兵入韓ノ舉ハ我國外交上損アリテ益ナキト被考候

二目下清國ハ將ニ牙山ノ兵ヲ撤回セントスル説アルニ際シ若レ我國ハ多

敵ノ兵負ヨ京城ニ繰入レ時ハ清國モ亦我ヲ疑ヒ必ラス其兵ノ京城
ニ繰入レ可シ然ルモ後未或ハ大事ヲ引起スヨリテ難斗是レ國志
上實ニ危険ノ事ト被考候

右ノ理由ニ依リ目下大兵ヲ京城ニ繰入レ候事ハ本使ニ於テ到底是視
致兼候依テ其趣ヲ本日外務大臣ニ致電稟置矣就テ貴官御引率ノ
各隊仁川到着致候ハ差シ當リ尤ノ箇條ニ照シテ御取扱相成候様
致度矣

- 一 和歌浦九ニテ先發步兵一大隊工兵一小隊ノ内其半数ハ上陸
入京セシメテ残り半数ハ姑ク上陸セシメテ以後報ヲ待タル可シ
- 一 後發各隊ハ仁川到着ノ後姑ク上陸セシメテ以後報ヲ待タル
可シ
- 一 仁川滯留中保養ノ為ニ銃器ヲ携帶セシメ時々上陸スルハ差支
ナシ

右御帳議旁申進矣也

明治廿七年六月十一日

在京城

特命全權公使大島圭次印

陸軍少將大島義昌殿



0053